

(対象事業： 地域振興と一体になったミュージアム事業)

事業名：

街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>advance アドヴァンス

事業者名：街かど美術館実行委員会

連携事業館名：萬鉄五郎記念美術館

住所： 岩手県花巻市東和町土沢5区135番地

TEL：0198.42.4402

FAX：0198.42.4405

HPアドレス：<http://www.arttsuchizawa.com>

「街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>advance」

会期中の商店街の様子

①施設概要

岩手県花巻市東和町土沢は、日本の近代洋画の先駆的な画家、萬鉄五郎の生誕地である。同地に
ある萬鉄五郎記念美術館は、萬の顕彰を目的に、彼の生地にて1984年に開館。「萬鉄五郎と郷土・土
沢」をテーマに、萬作品や資料等によって彼の生涯にわたる画業を多角的に検証し紹介している。

また、2005年、06年と地元の住民と協働して土沢商店街を展示会場に、現代美術展「街かど美術
館 アート@つちざわ<土澤>」を開催し、街の活性化につなげている。

②事業の意図目的

萬鉄五郎記念美術館では、これまで地域と美術館が一体となった企画「街かど美術館」を開催し、
美術館と地元商店街、そしてアーティストが一体となった、新たな美術空間を作り出してきた。

今回、この企画の展開として、前回の参加作家から、住民と共同作業が可能で、独自性のある作
品をつくりだしているアーティストを数名選抜し、それぞれの作家が数箇所から 10 箇所程度の会
場を使って表現活動を展開する。作品制作や展示にあたっては、アーティストと地域民が協働で行
うことを原則とし、ワークショップの開催やそれらの作品も展示に加え、参加型の企画とする。

また、展示作業や会場や観覧者の看視、解説活動などのボランティア活動を推進し、街ぐるみで
アーティストを支え、展覧会をつくりあげる意識を醸成し、美術による新たなコミュニティの創
造を推進する。

③事業概要

平成18年度開催した「街かど美術館」出品者から、渡辺豊重(平面・立体)、松本秋則(サウンドオ
ブジェ)、沢村澄子(書)、鎌田紀子(立体)の4名を選抜し、滞在制作や子どもを中心としたワ
ークショップなどを開催し、地域民との交流を生かした作品制作を展開。そして、この地でなけれ
ば成立しない作品を制作し、地元商店街や萬鉄五郎記念美術館を会場に59箇所に表示した。

また、シンポジウム「街かど美術館の展開を考える」を開催し、今回の参加作家を交えて、作
品制作から展示にいたるまでの葛藤や苦労など、体験談を交えて、今後のこの企画のあり方を採
った。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他(ガイドマップ、チラシ)

作成した報告書等

ビデオ ()

冊子 (「街かど美術館 アート@つちざわ<土澤> advance」)

その他 ()

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 15,000 人

内 訳 市内6,000人 県内7,200人 県外1,800人

(1) 事業の実施状況について

平成18年度開催した「街かど美術館」出品者から数名を選抜し、滞在制作や子どもを中心としたワークショップなどを開催し、地域との交流を生かした作品制作を展開。そして、この地でなければ成立しない作品を制作し、59箇所の地元商店街や萬鉄五郎記念美術館を会場に展覧した。

選抜アーティスト：

渡辺豊重(平面・立体) 松本秋則(サウンドオブジェ) 沢村澄子(書) 鎌田紀子(立体)

展示：

渡辺豊重 「ユーモラスなカタチ」

内容：渡辺豊重は、高さ1.8m、総延長16mの壁面に、会期中も来場者にプロの制作現場を見てもらおうと公開制作を行った。また、オレンジ、黄色、青の巨大な立体作品3点を制作。さらに、萬鉄五郎記念美術館をはじめ、商店街のショーウィンドーや店舗、空き家、空き地など28会場に、平面作品、版画、立体作品など200点余りの作品を展示した。多様な造形性の持ち主である渡辺は、地域の風土を感じながらユーモラスで愛らしい造形空間を出現させた。



公開制作中の渡辺豊重さん

松本秋則 「竹が奏でるオブジェ」

内容：竹を素材にしたサウンドオブジェの松本秋則は、大仕掛けの竹のドームを出現させ、あちこちに仕掛けられた竹のオブジェから聞こえる心地よい音に、思わず引き込まれた。また、幻想的な光が浮遊する部屋では、アメーバーのように変化する七色の光と竹の奏でる音色が共鳴し異空間へ誘うなど、竹を使った魅惑的な造形と音の奇想天外な演出と仕掛けで会場構成した。



沢村澄子 書は多表現

内容：岩手県内はもとより県外まで足を伸ばすという軽快なフットワークで、「街の思いをつづる」ワークショップで1,000人にアタックし、美術を市民に浸透させる牽引役となった。ときに柔軟にときに力強く躍動する沢村の「書」は、街のいたるところに多様な表現を展開した。



鎌田紀子 「こっくらまっくら」

内容：立体作家の鎌田は、街のいたるところに大小の布でつくった立体作品。通称「ダイチャン人形」を展示し、小学生から大人まで多くのファンをつくりだした鎌田。キモカワイイ人形は、怖いもの見たさの人間心理を巧みにつき、もう一度みたい作品としてリピーターを獲得した。商店街に不思議に満ち空間をつくりだ

した。

ワークショップ：

①「渡辺豊重とつくる楽しいカタチ」ワークショップ

講 師：渡辺豊重

対 象：小学生、高校生、一般

内 容：紙粘土をカットしたり、削ったりして、不思議なかたちのオブジェを制作。その後、自然乾燥させ彩色されたこれらの作品は、会期中、渡辺豊重さんとのコラボレーションとして展示した。

日 時：平成 19 年 8 月 24 日（金） 14:00～17:00

会 場：とうわ子ども未来館

参加者：25 名

日 時：平成 19 年 8 月 25 日（土） 13:30～17:00

会 場：岩手県立黒沢尻北高等学校

参加者：20 名

日 時：平成 19 年 10 月 13 日（土） 13:30～17:00

会 場：ふれあいセンター2 階（土沢商店街）

参加者：10 名



制作中の鎌田紀子さん



小学生に指導する渡辺さん

②「街へのおもいを伝える 一墨で伝えるあなたの心」ワークショップ

講 師：沢村澄子

対 象：小学生から一般

内 容：地元の街の人々をはじめ、岩手県内や県外の人たちまで巻き込んだワークショップ。各人の「わが街に寄せる思い」を色紙に書かせて歩いた。それぞれの願いや希望を綴るワークショップであった。およそ 1,000 枚に及ぶこれらの作品は、会期中、土沢の街のあちこちにパネルにして展示された。

日 時：平成 19 年 9 月 5 日（日）

～10 月 23 日（土） 10:00～15:00

会 場：東和町地内（岩手県花巻市東和町）／岩手県内各地、他

参加者：約 800 名



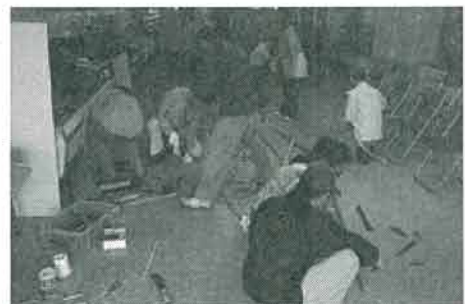
沢村さんのワークショップは、色々な所で開かれた

③「サウンドオブジェ ー竹音器つくって飾ろう 街かどに」ワークショップ

講 師：松本秋則

対 象：小学生から一般

内 容：竹を使って風を受けて音を奏でるサウンドオブジェを制作するワークショップは、



松本さんのワークショップ

市内の人たちを対象に、一本の竹から風を受けて音を奏でる竹のオブジェを制作。萬鉄五郎記念美術館の敷地内に展示し、会期中風を受けて心地いい音を奏で、来場者を楽しませた。

日 時：平成 19 年 10 月 7 日（日） 13:00～17:00

会 場：旧おいとも（土沢商店街）

参加者：10 名

④「ダンゴ ーダンゴつくる 笑顔でたべる」ワークショップ

講 師：鎌田紀子

対 象：小学生から一般

内 容：鎌田紀子の不思議な人形にイメージを得て、顔のあるきれいなダンゴを作るワークショップ。粉をこねて人の顔のダンゴを作り、食紅で色をつけてリアルにお化粧したダンゴを蒸し器に入れ、ふっくらした色鮮やかなダンゴのできあがり。それを、みんなで美味しくいただいた。

日 時：平成 19 年 11 月 11 日（日） 10:00～12:00

会 場：土沢自治会館

参加者：16 名



鎌田さんのワークショップは、子どもたちに大人気

シンポジウム

テーマ：「街かど美術館の展開を考える」

これまでは一般のオープン参加の「街かど美術館」であったが、そこから一歩すすんだ、今年の「街かど美術館 アドヴァンス」は、前回出品者から 4 人のアーティストを選抜し、それぞれ 10 箇所程度のバリエーションで作品展示するもの。今後は一般参加とアドヴァンスと交互に展開しようとする試みである。

その第 1 回目となった今回の参加作家から、本企画に参加した感想や作品制作から展示にいたるまでの葛藤や苦労など、体験談を交えて今後のこの企画のあり方を探ったシンポジウムとなった。また、一般参加者からは、この街を再発見する機会になったという方や、このアート・プロジェクトがあったから、何十年ぶりにこの街を訪れたという方など、美術が媒体となって、街おこしの契機となっていることがあきらかになった。

期 日：平成 19 年 10 月 27 日（土） 14:00～16:00

会 場：あっとホーム亭（土沢商店街）

参加者：約 70 名

コーディネーター：斎藤 純（小説家）

パネリスト：渡辺豊重（平面・立体）／パネリスト：松本秋則（サウンドオブジ

パネリスト：沢村澄子（書）／パネリスト：鎌田紀子（立体）



シンポジウム会場

(2) 地域との連携について

本事業は、萬鉄五郎記念美術館と美術館のある花巻市東和町の住民が、一体となって組織した実行委員会が主体となって行った事業であり、地域商業の振興と地方から発信する美術振興がリンクして地域の活性化の起爆剂的な事業となった。

ワークショップの準備や会場の提供、来場者への案内など、地域商店街の人々や地元民の幅広いコミュニティ・ネットワークを使い、ワークショップやシンポジウムの周知をはかるとともに、会期中の 15,000 名にもものぼる来場者に対するボランティアガイドや会場看視、清掃など、地域民の支援体制がしかれ、スムーズにプロジェクトを遂行することができた。

(3) 成果物について

印刷物： ポスター、チラシ、ガイドマップ

図録『街かど美術館アート@つちざわ<土澤>advance』

(4) 参加者の反応

・ 展覧会

商店街を中心に 59 会場での展示は、完成度の高い作品で来場者を驚かせた。鑑賞した多くの方が、来てよかった、楽しかったとアンケートに書いていた通り、「街かど美術館 アドヴァンス」は、街の魅力の再発見と現代美術の普及に有効な事業であったといえる。会期中は、商店街が来場者で賑わい、日頃の寂しい商店街とは打って違って、現代美術に親しめる魅力あふれる「場」を構築することができ、この街に内在する価値に気づかされることとなった。

・ ワークショップ

幼児から高齢者まで、参加作家の多彩なワークショップが開催された。それらのワークショップ作品が展示へ結びつき、参加者の意識も制作から展示へと一連の流れは、この事業への参加意識の高揚につながった。今回のワークショップは、気軽に美術への導入が図られ、身近に美術を感じられたと参加者からの声も聞かれ、美術家との交流も密に行われる結果となった。

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

萬鉄五郎記念美術館と地元地域住民とが協働で実行委員会を組織し、岩手県花巻市東和町の土沢商店街を核にして、約 60 箇所にもものぼる店舗や民家、空き家や空き地などを使って現代美術を展示した。ワークショップの準備や会場の提供など、地域商店街の人々の協力や、市内外から 500 名にもものぼるボランティアに支えられこの事業を遂行することができた。特に、地域民が主体となったアート・プロジェクトとして、マスコミ各社も大々的に報道し、会期中の来場者は 15,000 人と地域商店街の活性化にはずみをつけることになった。

また、鑑賞した多くの方が「来てよかった」、「楽しかった」とアンケートにあるように、「街かど美術館 アドヴァンス」は、現代美術の普及事業としても有効な手段と思われる。会期中の商店街は、普段の商店街とは打って変わり、賑わいで街が溢れ、街再生のヒントをここに得た観があった。街に飛び出した現代美術は、美術の魅力と、街の魅力を掘り起こし、新たなコミュニティの「場」を構築した。

(6) 新聞記事等

○新聞記事

『岩手日報』平成19年10月2日 朝刊
『毎日新聞』(岩手版)平成19年10月9日 朝刊
『河北新報』平成19年10月23日 朝刊
『岩手日日』平成19年10月24日 朝刊
『岩手日日』平成18年10月25日 朝刊
『岩手日日』平成18年10月26日 朝刊
『朝日新聞』(岩手版)平成19年10月28日 朝刊
『岩手日報』平成19年10月28日 朝刊
『岩手日日』平成19年10月28日 朝刊
『岩手日報』平成19年10月29日 朝刊
『岩手日日』平成19年10月30日 朝刊
『岩手日報』平成19年10月30日 朝刊
『盛岡タイムス』平成19年10月30日 朝刊
『岩手日日』平成19年10月31日 朝刊
『読売新聞』(岩手版)平成19年11月11日 朝刊

○テレビ、ラジオ

めんこいテレビ『山・海・漬』「芸術の秋を楽しもう! いわてちょこっとみゅーじあむ」
平成19年11月3日 18:30~19:00 (30分)
NHK 盛岡放送局「ひるっこいわて」平成19年11月9日 11:30~11:40 (10分)
テレビ岩手『どこか行こうヨ!』平成19年11月17日 9:25~9:55 (30分)
IBC ラジオ『ワイドステーション』「684 レポート」平成19年10月17日 13:30~13:35
(5分)
IBC ラジオ『神山浩樹のサタデーまねき猫』平成19年11月17日 12:10~12:15 (5分)
IBC ラジオ『ワイドステーション』「684 レポート」平成19年11月19日 13:30~13:35
(5分)

○雑誌等

『生活情報誌マ・シェリ 653号』平成19年10月18日
『生活情報誌マ・シェリ 654号』「気になる街 花巻・北上サクッと散策 拡大版 街かど美術館アート@つちざわ<土澤>advance」平成19年10月25日
『生活情報誌マ・シェリ 658号』「街かど美術館アート@つちざわ<土澤>advance に行ってきました!」平成19年11月22日
『新美術新聞』平成19年11月1日
『文化庁月報 No. 471』「さらなる一步を踏み出した 街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>advance」平成19年12月25日
『ミューゼ vol. 83』「ジャーナルポケット 街かど美術館 アート@つちざわ<土澤>advance」平成20年1月25日
『いわてグラフ 3月号』20年3月1日